取扱説明書

LE-101A

スピーカーエンクロージャー

このたびは、パイオニアのスピーカーエンクロージャーLE-101Aをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
このエンクロージャーは、パイオニア創業70周年記念として発売したフルレンジスピーカー「PE-101A」の専用エンクロージャーです。コンパクトながら「PE-101A」のパフォーマンスを最大限発揮します。音楽鑑賞をはじめ、各種音響機器のモニター用として、机の上や本棚に置いて気軽にお楽しみください。
本機の機能を十分に発揮させるために、必ず取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになったあとは保管して、使用中に分からないことが生じた場合にご利用ください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⦸記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

●記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

ご使用の前に

スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上の入力を入れない。
- ピンプラグの抜き差し時はアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない(アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがあります)。

⚠ 注意

設置

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、おのおのの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を乗せて移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

使用方法

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、当社は一切責任を負いません。

⦸ 設置上の注意

- 壁や天井に取り付けたり、棚の上など高い所に設置しないでください。グリルは取り外し可能な構造なので、きちんと取り付けていないと、グリルが外れて落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- スピーカーシステムは重いため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。

音のエチケット

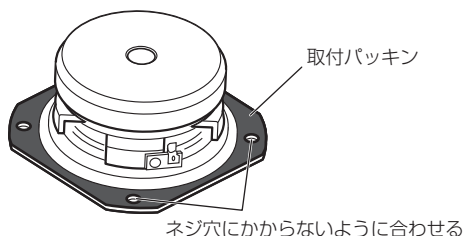
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聴くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

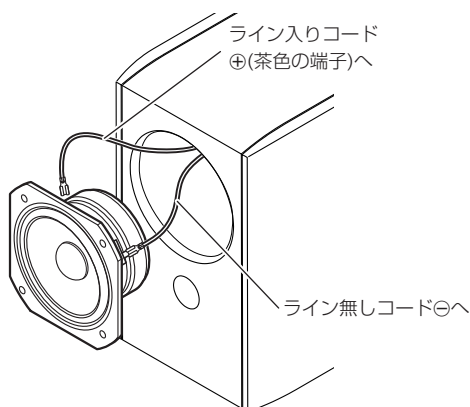
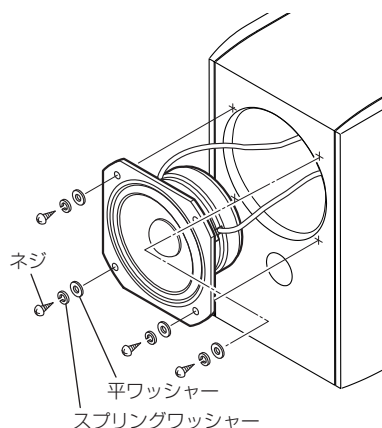
⃠ 使用上の注意

- 本機はキャビネット表面に天然木の突板（および集成材）を使用しております。直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。天然木の収縮によるキャビネットの変形、変色およびスピーカーが故障する原因になります。

スピーカーユニット (PE-101A) の取り付け

- スピーカーユニットの取り付けは安定した場所で、キャビネットの底面にじゅうたんなどを敷き、バッフルを上向きにして行ってください。けがの原因になることがあります。

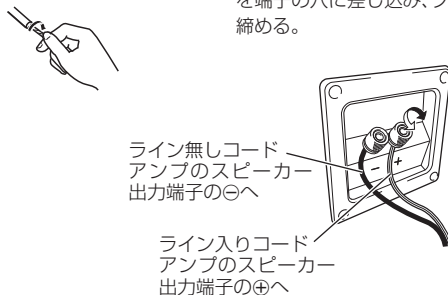
1. 取付パッキン(スピーカーユニットに付属)を、スピーカーユニット裏面の所定の位置に合わせて置きます。

2. キャビネットのコードをスピーカーユニットへ接続します。

⊕側のライン入りコードをスピーカーユニットの⊕側(茶色の端子)へ、⊖側のコードをスピーカーユニットの⊖側へ接続します。

3. キャビネットのネジ穴に合わせてスピーカーユニットを設置し、スピーカーユニットに付属のネジ、スプリングワッシャー、平ワッシャーを使って4カ所を固定します。

アンプとの接続

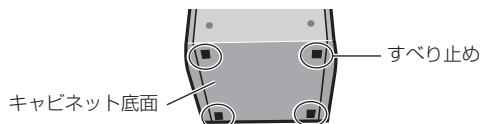
1. アンプの電源スイッチを切ってください。(POWER OFF)

2. キャビネット背面の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を、スピーカーユニットに付属の接続コードで接続します。⊕端子はライン入りコードで、⊖端子はライン無しコードで接続します。

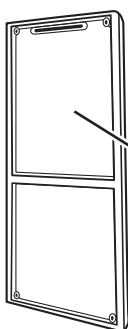
① 接続コードの被覆をはがして先端をまとめる。

② 手で入力端子のツマミを左( )に回して緩め、接続コードの先端を端子の穴に差し込み、ツマミを締める。

- 端子に接続したあと、コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確認してください。接続が不完全だと、音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプと接続したとき、スピーカーシステム(左右どちらか)の極性(+、−)を間違って接続すると、正常なステレオ効果を得ることができません。

すべり止めの取り付けかた

設置する場所に応じて、付属のすべり止めを使用してください。すべり止めは、キャビネット底面の四隅に貼り付けてご使用ください。ただし、設置する場所によって、すべり止めの効果が不十分になることがありますので、すべりやすい場所には設置しないでください。

グリルネットの着脱

グリルネットを着脱するときは、次のように行ってください。

1. **取り付けるときは、グリルネットの四隅にある突起部を本体の穴に合わせて、押し込みます。**
2. **外すときはグリルネットの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っ張ってグリルネットの下側を外します。**

フレームの空間が広い方を上にする

グリルネットには上下がありますので、取り付けの際ご注意ください。

3. **同じように、グリルネットの上側を手前に引っ張るとグリルネットは本体から外れます。**

お手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

仕　様

形式 ･･････････････････ 位相反転式ブックシェルフ型
内容積 ･････････････････････････････････ 4.2 ℓ
外形寸法
･･･ 154 (幅) mm × 246 (高さ) mm × 204 (奥行) mm
質量 ･････････････････････ 2.0 kg（グリル取付時）

付属品

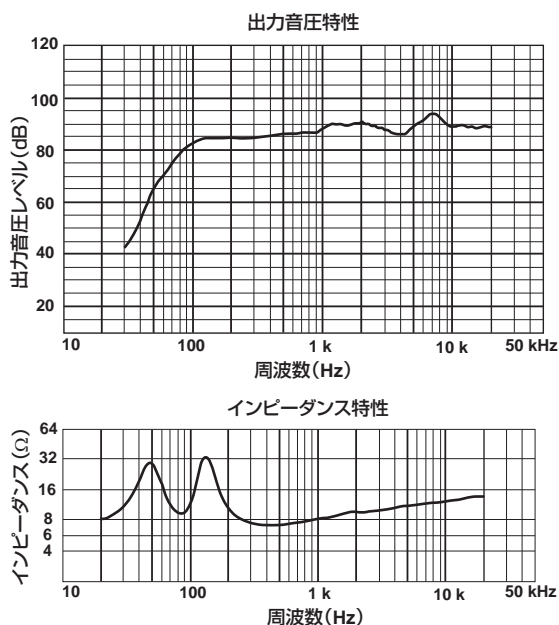
すべり止め ････････････････････････････････････4
グリルネット･･･････････････････････････････････ 1
取扱説明書

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

このスピーカーエンクロージャーのキャビネットの仕上げには、天然木材が使われています。このため、塩ビ化粧材などに比べ色の艶や深みなど素晴らしいものがあります。これらは天然材のため2つと同じ柄のあるものは存在しません。この点をお含みくださり、ご使用をお願いいたします。

サービス用部品番号

部品名	部品番号
グリル	SMG1911
入力端子板	SKX1074
バッジ	SAM1489
キャッチ	SLH1097
バインドツインネジ 3.5	SBA1190
すべり止め	SEC1964
ポリ袋 S0（すべり止め用）	SHL1259
ポリ袋 S1（グリル用）	SHL1414
ポリ袋 S2（取扱説明書用）	SHL1295
ポリ袋 S3（本体用）	SHL1401
プロテクター（上）	SHA2325
プロテクター（下）	SHA2326
取扱説明書	SRA1475
外装箱	SHG2842

特性図 (PE-101A 組み込み時)

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■ フリーコール 0120−944−222　■一般電話　03−5496−2986
■ファックス　03−3490−5718
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーパイオニア）　■一般電話　03−5496−2023
■ファックス　0120−5−81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910
■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　■一般電話　0538−43−1161
■ファックス　0120−5−81096

平成20年5月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.028

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<SRA1475-A>